

# 令和5年度 学校評価報告書

## 報告内容

- 1 今年度実施した自己評価
  - ・ アンケート（生徒・保護者・教師）の分析と考察  
※ 今後の対応を含む。
- 2 学校関係者評価
  - ・ 学校運営協議会における意見を参考

都城市立庄内中学校

# 令和5年度 学校評価アンケート 11月実施

1：そう思う 2：少しはそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

## 1 すぐれた知性「確かな学力の育成とキャリア教育の推進」

1 家庭での学習（復習、予習、宅習等）をきちんとやっている。

生徒 (%)									保護者 (%)								教師 (%)								
1		2		3		4			1		2		3		4			1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
38	29	51	56	10	11	2	3		28	23	59	58	10	15	3	5		11	4	83	83	6	13	0	0
<b>分析</b> 生徒、保護者、教師とも肯定的な回答が80%を越えている。昨年度と比較すると、生徒と保護者では「そう思う」の回答が5%減少している。割合の傾向は昨年までと変わらないが、教師の回答では「少しはそう思う」の割合の方が多く、生徒や保護者と20%の開きがある。今後も内容の充実について具体的に指導をする必要がある。									<b>対応</b> 定期テスト前の家庭学習を充実させるために、今年度も学習の内容と時間の計画を作り、取組状況を毎日記録させた。今後は、保護者の点検欄を設けるなどして親子で振り返らせ、毎日の積み上げが重要であることを更に意識付けていく。また、キュビナの活用を推進するとともに、学習履歴をチェックしながら個に応じた指導をきめ細かく行う必要がある。																

2 各教科の学習方法（家庭で学習する際の勉強方法や学習時間の作り方等）を理解できている。

生徒 (%)									保護者 (%)								教師 (%)								
1		2		3		4			1		2		3		4			1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
30	24	43	53	23	19	4	4		22	16	43	49	31	28	4	7		11	21	61	50	28	29	0	0
<b>分析</b> 昨年度と比較すると、教師は「そう思う」の割合が増えている。それに対して、生徒と保護者においては「そう思う」の割合は減少し、「少しはそう思う」が50%以上を占めている。キュビナでの課題が増え、生徒の達成感が向上したことから「あまりそう思わない」の割合が減少したものと思われる。									<b>対応</b> 学習方法については、教科担当が授業と家庭学習が相乗効果を生むよう継続的に指導を行う。また、その指導について学級担任も共通理解を図り、学活の時間等を使って、宅習の内容の見直し・改善に取り組みさせる。さらに、基礎・基本については、キュビナを活用して反復練習を行うなど、複数の学習方法を示して達成感を味わわせながら指導する。																

3 各教科の授業は分かりやすい。

生徒 (%)									保護者 (%)								教師 (%)								
1		2		3		4			1		2		3		4			1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
56	41	40	51	5	6	0	2		28	24	51	54	19	20	2	2		39	46	56	50	6	4	0	0
<b>分析</b> 生徒、教師ともに95%程度が「そう思う」「少しはそう思う」と回答している。保護者も80%程度が同じ様に答えている。視聴覚教材やICTを取り入れたり、きめ細かな指導を行ったりしながら授業を行っていることが浸透しているものと思われる。									<b>対応</b> 庄内地区小中一貫教育で取り組む「庄内スタンダード」、県や市が推進する「ひなたの学び」「わさびの授業」など、ICTの活用を図りながら、生徒主体の授業改善に継続して取り組んでいく。また、全国及びみやざき学力調査の結果を分析し、重点課題の解決に繰り返し取り組みながら、生徒が分かる授業を実現する。																

4 進路に関する学習や体験学習などを通して、将来のことをよく考えるようになった。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
57	55	32	31	9	9	3	5	27	23	43	37	22	32	8	8	33	33	50	42	17	25	0	0
<b>分析</b> 生徒の85%以上が肯定的な回答をしている。それに対して保護者は40%、教師は25%が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している。昨年度とほぼ同じ傾向であり、進路に関して保護者と話をする機会が少ないのではないかと思われる。								<b>対応</b> 進学先の選択だけでなく、自分の生き方を考えることが進路学習であるという意識を、生徒だけでなく保護者にも持っていただくことが必要である。キャリア教育の視点に立ち、教育課程全体で基礎的・汎用的能力を育成していくとともに、保護者を巻き込んだ進路学習を設定し、生徒が保護者と話し合う機会を設定していく。															

2 豊かな心「積極的な生徒指導の推進と心の教育の充実」

5 進んで、いつでも、どこでも、誰に対しても、あいさつをしている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
59	60	34	33	6	7	1	1	46	41	46	48	8	11	1	0	56	42	33	54	11	4	0	0
<b>分析</b> 生徒、保護者、教師ともに昨年度と同じ傾向にあり、肯定的な回答が90%を越えている。生徒は、あいさつの習慣が十分身に付いていると考えられる。地域の方からも生徒がよくあいさつをしてくれると評価していただいている。								<b>対応</b> 生徒会が中心となって「GET-J～元気よく・笑顔で・立ち止まって・自分から」というあいさつの取組に主体的に取り組んでいる。適宜、後押しや賞賛を行いながら自ら行動しているという意識を高めさせていきたい。また、日常の指導の中で、時と場に応じたあいさつ、相手との関係性を踏まえたあいさつを身に付けさせていきたい。															

6 社会のルールや学校のきまりを守り、規則正しい生活を送ることができている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
59	57	35	37	6	6	0	1	54	50	38	45	8	5	0	1	39	33	61	54	0	13	0	0
<b>分析</b> 昨年度と同じ傾向が見られ、肯定的な回答をした生徒は94%、保護者は95%である。教師は、昨年度100%肯定的な回答であったが、今年度は13%が「あまりそう思わない」と回答している。現状は、校則違反も少ない状況であるが、自分本位の考えで行動する生徒が見受けられることから十分でないという回答をしたのではないかと思われる。								<b>対応</b> 規範意識は高く、校則や社会的マナーやモラルの遵守については、今後とも生徒指導主事を中心に定期的に指導していく。規則正しい生活という観点では、スマホやインターネット、ゲームとの関連性が高く、日頃から具体的な指導とともに保護者への啓発を継続していかなければならない。また、情報モラルに関しては、保護者への啓発も継続していく。															

7 学校の友達や家族、地域の人に対して思いやりのある言動をとっている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
58	57	37	38	4	4	1	1	42	47	52	48	6	5	0	0	50	38	50	54	0	8	0	0
<b>分析</b> 昨年度と同じ傾向で、肯定的な回答は、生徒、保護者、教師とも95%である。この結果から、生徒は十分思いやりのある態度で生活していると考えてよい。そんな中で、時折、不適切な言葉で心を痛める事例や配慮のない言動もみられる。								<b>対応</b> 積極的な生徒指導や道徳の充実で現在の状況を維持していきたい。不適切な言動がある生徒は、相手を不快にさせていることに気づいていないことが多く、情報収集に努めると共に、家庭との連携も強化して個別に対応していく必要がある。相手を思いやりながら自分の考えを伝える力を育てるとともに道徳的実践力を身に付けさせていきたい。															

8 当番活動、委員会活動、清掃等にもまじめに取り組んでいる。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
78	80	19	17	4	2	0	1	60	63	34	35	4	2	1	1	56	63	44	38	0	0	0	0
<b>分析</b> 昨年度と同じ傾向で、生徒、保護者、教師とも肯定的な回答で占められている。生徒の日頃の取り組み状況はとても素直で良好である。								<b>対応</b> 教師の支援のもと、生徒に主体性をもたせる活動で達成感を得ている。専門委員会の活動をバランスよく活発化するために、担当する委員会の教師と生徒の連絡調整や、総括する生徒会担当との連絡調整をきめ細かに行う必要がある。各学級での係や当番活動について振り返らせ、学級の中での自己存在感を味わわせたい。															

3 たくましい体「体力の向上と食育・健康・安全教育の推進」

9 学校や家庭等において意欲的に運動に取り組んでいる。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
63	59	19	26	12	10	5	5	48	55	30	22	15	16	7	7	22	38	67	58	11	4	0	0
<b>分析</b> 新型コロナ5類移行に伴い、体育の授業や部活動がほぼ通常に戻った。回答の傾向は昨年と近く、肯定的な回答をした生徒は85%、保護者は77%、教師は96%であった。保護者、教師で「そう思う」の回答が増加していることから、通常の生活に戻ってきたことが評価に反映していると思われる。								<b>対応</b> 新体力テストの結果にコロナ禍の影響が出るのが心配されたが、体力賞Aの生徒が増加していた。体育の授業だけでなく、昼休みにもグラウンドで運動をする生徒が増えている。今後は、マスクをはずしての活動ができるようになったので、運動強度を上げたり、休日の運動について具体的な取組みを指導したりしていく。また、自家用車での送迎を減らし、自力登校をするように生徒や保護者に啓発を図る。															

10 食に対する意識や感謝の気持ちをもち、普段から健康で安全な生活を送るよう心がけている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
69	76	24	19	4	4	2	2	43	34	44	53	11	10	2	2	6	25	61	67	33	8	0	0
<b>分析</b> 生徒の95%、保護者の85%が肯定的な回答をしており、昨年度と同じ傾向である。昨年度は、教師の33%が「あまりそう思わない」と回答していたが、今年度は8%に減少し、肯定的な回答が92%に増加している。給食の残菜ゼロの取組や登下校時の大きな事故もなく、交通安全の意識が高まったことが要因だと思われる。								<b>対応</b> 定期的に発行している「給食だより」や「保健だより」を通して、今後も継続して健康管理について考えさせ、意識を高めていく。また、「弁当の日」の取組の充実や回数の見直し、保護者と一緒に取り組む食育の工夫を行う。下校指導や実践的な交通教室を実施し、安全意識の高揚を図る。															

11 毎朝、朝食を取って登校している。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
89	84	6	8	3	3	2	4	85	91	11	5	4	2	4	2	6	33	94	63	0	4	0	0
<b>分析</b> 肯定的な回答をした生徒は92%、保護者は96%と、昨年度と同じ傾向である。教師の観察や記録からも同様の傾向が見られるようになったせい、昨年度よりも「少しはそう思う」が減少し、「そう思う」の回答が増加している。毎日ではないが、朝食を摂らないで登校する生徒も見られる。								<b>対応</b> 給食献立表や昼の放送を通して食の知識を高め、その重要性を理解させることを継続する。「弁当の日」の取組だけでなく、食育に関する情報を通信等に掲載し、朝食の大切さを生徒や保護者に啓発する。また、朝食を摂る習慣が身に付いていない生徒には個別に指導を行い、自力での改善を図らせる。															

4 郷土愛「ふるさと教育の充実」

12 庄内の歴史や産業に関心をもち、この庄内地区に貢献したいと考えている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
42	38	41	49	14	10	3	3	13	9	42	46	40	41	6	5	28	29	44	29	28	42	0	0
<b>分析</b> 生徒、保護者、教師とも、昨年度の傾向とほぼ変わらない。肯定的な回答をした生徒が87%であったのに対して、保護者は55%、教師が58%である。新型コロナ5類移行後も同様の傾向であった。地域巡見のような地域と密に関わる取組が1年生にとどまり、2、3年生では行っていないためだと思われる。								<b>対応</b> 地域行事での生徒の活躍だけでなく、地域と密に関わるふるさと学習を2、3年生の教育課程にも位置づけていくと保護者の認知も高まるのではないかと考える。今後検討していきたい。また、郷土を愛する態度等を主題とする道徳の授業などは今後も継続していく。															

13 地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加している。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		
24	37	29	37	30	18	17	8	16	21	37	49	38	22	10	8	44	46	33	42	17	13	6	0
<p>分析</p> <p>全体的な傾向は大きく変わらないが、新型コロナ5類移行後、地域行事でのボランティアが再開したことから、肯定的な回答が増加している。校内でも、毎朝の清掃活動やあいさつ運動を、生徒会や部活動を中心にして、熱心に取り組んでいる。</p>												<p>対応</p> <p>生徒は生徒会などの働きかけにより、ボランティアに対する意識はとても高い。まちづくり協議会等の企画にも多くの参加希望があり、抽選で参加者を選抜している状況になっている。生徒の積極性を維持するためにも、地域からの情報発信を敏感に捉えるとともに、新たなボランティアを開拓していく。</p>											

14 学校は、学校や生徒の様子について積極的に情報を発信していると思う。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		
	40		42		15		3		37		47		12		4		92		4		4		0
<p>分析</p> <p>今年度から増設した項目であるため、前年度との比較はできない。学校ホームページの更新頻度を上げたり、学校メールによる情報発信もこまめに行っている。その様子がよく分かる教師の評価は「そう思う」が92%と非常に高い。生徒、保護者の肯定的な回答は共に80%強であった。</p>												<p>対応</p> <p>今年度の学校ホームページのアクセス数は当初、1日あたり100~200件であった。現在は1日あたり平均して300~400件で推移している。また、1日の最高アクセス数は6030件であった。地域に回覧をお願いしている学校だよりの「元気通信」でもホームページのURLやQRコードを示して広報している。</p>											

【回答数】 生徒…204名 保護者…137名 教師…24名

令和5年度 都城市立庄内中学校 学校評価  
「学校関係者評価の結果」

庄内中学校が実施した「令和5年度自己評価」の結果をもとに、本校学校運営協議会では、以下のとおり学校関係者評価を行った。

<p>自己評価の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度の学校経営ビジョン達成に向けての重点目標に沿って評価項目を設定し、教師や生徒、保護者に周知した上で、11月にアンケート調査を行い、自校の取組を分析し、考察を行った。さらに内部評価として各学年での評価、校務分掌部における評価等も定期的に行いながら、現状把握及び課題確認と解決へ向けての手立てを協議した。</li> </ul>
<p>自己評価結果の分析及び今後の対応として、学校に期待すること</p>	<p><b>1 確かな学力の育成とキャリア教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケートの結果より、学習に対する意識の変化が意欲的になっているのが分かる。日頃の先生方の指導に感謝します。タブレットの活用など、工夫された指導のたまものだと思います。家庭での学習が課題のような気がします。</li> <li>○ 庄内地区小中一貫教育「庄内スタンダード」はとても良い取組だと思います。小中学校の一貫した指導の効果もさらに期待されますのでよろしくお願いします。</li> <li>○ キュビナの活用が進み、基礎学力の向上に役立っていることが分かります。ICTだけではなく、応用力はプリントを使って指導されているということで安心しました。5教科の平均点を比較するとさらに学力の向上が分かるのではないかと思います。</li> <li>○ 子どもたちには、自分の将来についてしっかりした考えをもってほしい。学校に相談をするくらいあって良いと思います。職場体験学習については、保護者に話をしてもらう機会を作ることも一案だと思います。</li> </ul> <p>★ 学校に期待すること…「家庭学習の充実」「キャリア教育の充実と啓発」</p> <p><b>2 積極的な生徒指導の推進と心の教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この項目は高い割合でできているように思います。多感なこの時期の生徒を毎日指導いただく先生方の苦勞に感謝します。</li> <li>○ 庄内中の生徒は、いつも元気よくあいさつしてくれます。思いがけなくあいさつされてびっくりすることもあるほどです。コミュニケーションは社会の入口なので続けてほしいと思います。</li> <li>○ 当番や委員会活動、清掃に真剣に取り組んでいて、庄内中の伝統になっていることが素晴らしいです。</li> <li>○ 色々なことを体験すること、本物に触れることが大切です。思いやりの言動等については、気がついたときの話が大事だと思います。</li> <li>○ 生徒、保護者に対するSNS等の情報モラルの指導を引き続きお願いします。</li> </ul> <p>★ 学校に期待すること…「心の教育の充実」「家庭と学校との連携強化」</p> <p><b>3 体力の向上と食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナが5類に移行して、体育の授業等、ほぼ正常に戻ったと思いますので、これからの伸びに期待します。運動が苦手な子どもや不登校気味の生徒の体力向上を図ることができればと考えることがあります。</li> <li>○ 給食の残菜ゼロの取組や食育の情報発信の効果が出ているようです。</li> <li>○ 生徒数の少ない方の学校ではありますが、庄内中の名前を新聞で見ると頑張っているなど自分も励みになります。</li> <li>○ 時代的に仕方ないのですが、車の送迎を少しでも減らす方法はないのでしょうか。せめて、休日の部活動の時だけでも自力登校をさせてほしい。</li> </ul> <p>★ 学校に期待すること…「家庭との協力による食育の充実」「体力の向上」</p> <p><b>4 ふるさと教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郷土愛にあふれる子どもたちですが、その気持ちを持ち続けられるような郷土を作ることが我々大人の責務であると思います。</li> <li>○ 今年度は、地域のイベントである「庄内川一周YOU遊駅伝大会」や「庄内地区ふるさとまつり」でのボランティア活動で大変助かりました。まちづくり協議会との連携がうまく取れていると思います。</li> <li>○ 1年生の地域巡見学習は、生徒が積極的に下調べや巡見後の新聞づくりに取り組んでいてうれしく思います。庄内の歴史を聞くと知らなかったことも多く、感動することもあります。</li> </ul> <p>★ 学校に期待すること…「地域行事への参加の奨励」「保護者への積極的な啓発」</p>